

# 菊陽人 りさーち



すみよし あやね  
**住吉 亜矢音さん (9歳)**  
[沖野]

- **趣味** 少林寺拳法、バスケ
- **将来の夢** 保育士
- **自慢** 習字で2級をとった
- **今一番やりたいこと** 黒帯を早く取りたい

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。

注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



すみよし かりん  
**住吉 華鈴さん (7歳)**  
[沖野]

- **趣味** 少林寺拳法、硬筆
- **将来の夢** 看護師
- **自慢** 少林寺拳法の大会で取組賞をとったこと
- **今一番やりたいこと** 家族旅行

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.16】

悪口や無視に対して周囲の状況に流されずに「やめよう」の一言を口にするのは短い言葉でありながら簡単ではないようです。しかし、それを実行する勇気を作者のように持ちたいと思います。家族みんなで出かけた先でのきゅうりの味とちぎった思い出は家族の絆と共に強い印象で幼い心に刻まれたことでしょうか。  
\*作者の学年は前年度の在籍学年となります。

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

## 人権問題

武蔵ヶ丘中 1年 川原 晴香

これまで集会などで誰かが前にでて人権について真剣に話をしている時や、先生が話をしている時に、周りがちゃんと聞いていないことがあります。これではいくら話し合っても、いじめや差別問題はなくなりません。  
まず、「いじめや差別で人がどれだけ傷つくか」「他の人にしていないこと」を自分がされたらどれだけ傷つくか」人のことを自分のこととして考える事が大切だと思います。そのうえで、今、いじめられたり、差別されたりしてきつい思いをしている人に「今自分がされて嫌なこと、きついこと」をみんなに訴えてもらいたいです。  
小学生の頃、私もいじめられる側だった。いじめられる側だったことがありました。特定の人にみんなで悪口を言ったり無視したり…。その時は何も思っていないで済んでいました。でも相手のことを考えるとつらいだろうなと思いつつ「やめよう」と口にした。それから次は、私がターゲットになってしまいました。  
いじめられる側になって、こんなにもいじめられて辛いものだと分りました。その頃親に、いじめられていると話しても「お前が悪い」と言われた話を聞いてもらえませんでした。その時「死にたい」と思ったことは一度や二度ではありません。

そのことをみんなに話そうとした時は、怖かったとしても勇気が必要でしたが、みんな真剣に人権問題に取り組んでくれるだろうと思って話しました。しかし、変わった人は少ししかいませんでした。  
小学校の頃いじめられていた人が中学生になってからは元氣そうにしているのが安心していました。私も、今では友だちもでき、楽しく中学生生活を送っているけれど、その人はどうなんだろうと思  
い、「最近はいじめられ  
たりしてない？」と聞いてみると、「少し…。」と答えていました。しかし、人権についてみんなが学習したり考えたりした後、同じ質問をすると「全然ないよ。」と笑って答えてくれました。なぜかその時、私も嬉しくなりました。  
今では、その人は授業中手を挙げるし、友だちもたくさんできたみたいです。私はその人の変化を見て勇気をもりました。私はこれから、もらった勇気で人権問題解決へのアイデアや考えを、みんなに伝えていきたいです。



▲力を合わせて！

## きくよう文芸

### 菊陽句会報

バラ祭り黄色の帽子咲きまざり	坂本百合子	時鳥生涯俳句の夢を追ふ	川口 豊子
父の日や労働うすき若き日も	田中 郁子	鈴蘭や訪ねし佳入庭の面に	井上久美子
伸びやかに牛の草喰むキャンプ場	村田 正三	お久しぶり旧姓呼ばれ春の午後	宮川ユキエ
都草阿蘇の広さにはにかめり	井 子文	行きつもどりつ一年生の草矢かな	日高 妙子
青梅やジャム味噌酒とひもすがら	財津 早雪	約束の堂を放つ朝の庭	曾我 育代
生きごまを母の背に問う青葉風	原野レイ子	初茄子の温みそのまま神棚へ	曾我トモ子
夏の空草喰む牛のたくましさ	西村ひとえ	根子仰ぐ古代紫庭石菖	紫藤 祥子
梅雨晴天天突く岩や根子の嶮	力 幸子	白玉はふつくらつむ母の味	村上 朋子
高岳や夏雲抱き聳え立つ	寺尾千代子	あじさいや隅田の花火と名を貰ひ	合志 重子
水無月や阿蘇はいのちの満ち溢れ	高橋 孝子	雲乱る根子の岩山夏兆す	野口 令史
日焼止め黒い男子と白い女子	佐藤 航	とことん故郷の酒の時に欲し	松橋 強
雨近いつばめがひくくとんでいる	佐藤 健	木の橋に凭れ螢の火を追へり	佐藤 澄世
鶯や行者の峯鳴き渡る	佐藤 節	屋敷一樹菓立を急ぐ母鴉	三島 一路
新茶淹れ友と遠き日振り返る	吉野 早苗		

### 短歌会

香り立つ新茶を入れてひとり梅雨の終りを身近に思う  
窓の外に水道工事の作業音鈍き音立て大きく響く  
母の味を思ひ出しつつ梅千しを今年も姉と瓶に漬けたり  
公園の花壇に咲ける紫陽花の花を濡らして小雨ふりつぐ  
ひんこつ鳥渡り鳥ではなかりしか郷里の池ではよく見かけたり  
境内に数百年を生きこしか黙し見上げる楠の大木

今村 貞子  
岡本まさえ  
菊川あさみ  
下田 久子  
皆島キクノ  
森 敦子

## 生活画とびざやき

パパとじいちゃんママとばあちゃんといぶきねえちゃんとゆきちゃん(妹)とはたけをみにおくにくるまでいった。パパのくるまでいった。ママが「いいよ」といったきゅうりを あーちゃん(自分)がきったよ。もってかえってみんなでたべたよ。おいしかったよ。りんごもたべたよ。おいしかった。

### きゅうりをとったよ!

もみじ園5才 とす あすか



▲「だるまさんが転んだ」で遊んだよ

